

山口情報芸術センター [YCAM] 演劇／パフォーマンス公演

YCAM パフォーマンス・ラウンジ #5

快快(faifai)「Y時のはなし」+ contact Gonzo パフォーマンス

5月15日(土) 19:00 開演、16日(日) 14:00 開演

※開演の30分前より、contact Gonzo パフォーマンスをおこないます。

山口情報芸術センター [YCAM] スタジオB、ホワイエほか

ようこそ、YCAMの舞台公演へ！

気軽に楽しみながら、新しい表現に出会えるイベント、今年も開催。

出演者の息づかいを間近に感じながら、身体表現の魅力や楽しさを体感できるイベント「YCAM パフォーマンス・ラウンジ」。YCAMのダンスや演劇公演を鑑賞するきっかけとなるよう、現在に生まれつつある、新しい身体表現の迫力をダイレクトに伝える企画として、毎年、春に開催しています。

5回目となる今回は、今までにない個性的な表現と、その発信スタイルで、国内外から反響を呼ぶ2組のアーティストが登場します。

ポップな演劇やダンス、イベントなど様々な方法を組み合わせて表現する演劇カンパニー「^{ふあいふあい}快快」。その最新作に加え、公演前には格闘技を思わせるスリリングなパフォーマンスを繰り広げるグループ「contact Gonzo (コンタクト・ゴンゾ)」がYCAMに出没。終演後は、出演者との交流が楽しめるカフェもオープンします。身体表現を楽しむ入り口がたくさん詰まったイベントに、ぜひご来場ください。

チケット情報 [チケット発売：4月3日(土)]

料金：(全席自由／contact Gonzo パフォーマンスは無料)

前売 一般2,000円／any会員・特別割引1,700円／25歳以下1,500円

当日 2,500円 ※当日は各種割引対象外

ぜひこの機会に、取材や記事掲載ご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ 山口情報芸術センター [YCAM] 広報担当：廣田

TEL：083-901-2222 FAX：083-901-2216 e-mail：information@ycam.jp

〒753-0075 山口県山口市中国町7-7 <http://www.ycam.jp/>

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。



参考写真：快快「Y時のはなし」(2010、東京公演) 撮影：加藤和也



contact Gonzo photo: Toda Yoichi

主催：財団法人山口市文化振興財団

後援：山口市、山口市教育委員会

平成22年度文化庁芸術拠点形成事業

企画・制作：山口情報芸術センター [YCAM]

表現の場所を自ら生み出す2組のアーティスト

ポップにパッケージする「快快」と、一変させるラディカルな「contact Gonzo」

YCAMがハッピーで、スリリングなスペースに変身

■ 演劇カンパニー「快快」

20代後半の世代を中心に、様々なバックグラウンドや国籍のメンバーで構成されたカンパニー。その活動には、既成の演劇というジャンルにとらわれず、ダンスや映像、音楽、パーティやケータリングといった、たくさんのアイデアが詰まっており、観客に驚きと楽しさを与えています。

舞台では毎回自由な実験をおこなっており、携帯電話やブログといったツールを通し、多層的なアイデンティティを描いたり、消費社会をクールにパロディ化したりと、現代社会への鋭い眼差しを感じさせます。一方、そんな現実を、一瞬一瞬に楽しむことにポジティブであろうとする彼らの姿勢には、新世代の身体・言語感覚が色濃く現れており、演劇のみならず幅広い分野、世代から人気を集めています。

■ パフォーマンス・グループ「contact Gonzo」

身体と接することで、直接的にお互いの体重や力の入れ方などを探りあう即興のダンスメソッド「コンタクト・インプロヴィゼーション」を基本に、殴る・蹴る、間合いや受け身などの格闘技的な接触(コンタクト)を取り入れた、独自の方法論を追求するグループ。

美術館、広場などに突如として出没し、安全で何かの目的に従って整備された公共空間や、人間の感覚を刺激し、その場を一変させていきます。一見、過剰ともいえる彼らの激しい身体表現は、安定した環境に埋没する私たちの能動的な感覚を呼び覚まし、新しいコミュニケーションのあり方を提示します。今回の企画には、身の回りのものを組み合わせ、サウンドインスタレーションの発表やライブ活動をおこなうアーティストの梅田哲也も参加します。



快快 | ふあいふあい
演劇カンパニー

2004年、東京で結成。小指値(こゆびち)として活動後、2008年、「快快」に改名。10人のメンバーは、演出、脚本、出演といった役割に留まらず、作品によってメンバーそれぞれが複数の役割を果たしながら、公演を制作している。突発的なダンスや映像をミックスしたく演劇から、ギャラリーや銭湯でのイベントなど、ジャンルや規模にこだわらず、様々な表現のチャンネルを開発しながら発信をおこない、新たな演劇観客層をも生み出している。

2009年には、作品「My name is I LOVE YOU」でヨーロッパツアーをおこない、国際舞台芸術祭フェスティバル「フェスティバル/トーキョー09」、ダンス・演劇・ファッション・音楽イベント「spectacle in the farm」に参加。NHKドラマ「渋谷JK」でショートドラマ放映、NADiff/a/p/a/r/tでの展示、「天然文庫の100冊」シリーズからの書籍リリースなど、活動の幅を広げている。



contact Gonzo | コンタクト・ゴンゾ
パフォーマンス・グループ

2006年、垣尾優と塚原悠也が「殴り合う」という行為に至ったことをきっかけに、活動を開始。その後、現在のメンバーである三ヶ尻敬悟、加藤至、金井悠が参加。「contact Gonzo」を集団名として、そして自らの方法論として活動を続ける。ギャラリーや倉庫、広場、公演、森など様々な場所で、身体の接触を扱う即興的なパフォーマンスを展開し、「痛みの哲学、接触の技法」を試行。観客が誰もいない場所でも「contact Gonzo」は実践されており、この点からも、「ダンス」「舞台芸術」と「行為」の境界を捉えた展開していると言える。突如ある場に介入することで、空間を刺激し、改変していくラディカルな活動が評価され、近年国内外の数々の展覧会、イベントに招聘されている。また、パフォーマンスの最中にインスタントカメラでお互いの姿を写真に収める「the first man narrative」、記録映像のyoutubeへのアップなど、自らの行為を見つめる冷静な視線を発信する方法も、話題となっている。

“パフォーマンス+演劇公演+カフェ”

パフォーミングアーツの魅力を思いっきり楽しめる、年に1度の特別企画！

YCAMにまだ来たことがない、パフォーミングアーツを鑑賞した経験がない…。そんな方に向けて、YCAMの演劇やダンス公演の入り口企画として2007年より開催している「YCAMパフォーマンス・ラウンジ」。今回は、「快快」の最新作「Y時のはなし」公演を中心に、公演前にはcontact Gonzoによるパフォーマンスを実施。さらに、公演後には、会場に特設カフェ「アフターアワーカフェ」をオープンし、観客同士、そして観客と出演者の交流の場を設けます。カフェでは、スペシャルイベントも開催。1日で、舞台芸術の楽しさを存分に体感できる企画です。

公演シリーズ「YCAMパフォーマンス・ラウンジ」とは…？

舞台と客席が一体となった空間で、俳優やダンサーの熱気や息づかいを感じながらパフォーミングアーツの魅力を体感するシリーズ。新しい舞台表現の可能性を探るアーティストを紹介し、現在に生まれつつある多様な表現に触れる機会を提供しています。

■これまでの公演

- #1 チェルフィッチュ「三月の5日間」(2007年4月)
- #2 ログズギャラリー「ガソリンミュージック&クルージング in 山口」(2007年12月)
- #3 まことクラヴ「事情地域(山口編)」(2008年4月)
- #4 煙巻ヨーコ ダンスセッション「ALL LOVES YOU!」(2009年6月)

□ 公演のながれ

5月15日(土) 19:00開演／16日(日) 14:00開演

開演30分前から

contact Gonzoパフォーマンス

会場：ホワイエほか

▼ 入場無料

開演10分前開場

快快「Y時のはなし」(上演時間予定:80分)

会場：スタジオB

▼ ※要チケット

終演

「アフターアワーカフェ」

会場：スタジオB

※チケットの半券をお持ちの方に限り入場可能

スペシャルイベント

15日(土):

ラップトップ・ライブ 出演：蓮沼執太

16日(日):

「快快と遊ぼう!!」 出演：快快

カフェ終了時間:

15日(土) 21:30まで／16日(日) 16:30まで

公演作品 快快「Y時のはなし」

日本語上演／英語字幕あり

学童保育を舞台にしたファンタジックメロドラマ。

子供の事情、大人の都合、重なり合わない世界はY時のときだけうまくいく。

2007年の日本初演で、大反響を呼んだ学童保育が舞台のファンタジックメロドラマ「R時のはなし」を2年の歳月をかけて、長編としてリマスターした本作。子どもの世界と大人のルールの交錯を、人形劇やアニメ、ゲームとともに描いた物語です。夢と想像力で、現実を補いながら生きてゆく子供たち、そして彼らを取り巻く大人たちの姿に、笑ったり、涙したりと、懐かしくて爽やかな気持ちを感じるでしょう。「こんなこと出来たらいいな」と誰しも一度は思うような仕掛けと演出は、子どもから大人まで、友達同士、家族みんなで楽しめます。



参考写真：快快「R時のはなし」(2007) 撮影：加藤和也

公演後にオープン！「アフターアワーカフェ」

作品の感想を交換したり、出演者との交流も楽しめる特設カフェ

公演後にオープンする「アフターアワーカフェ」は、お茶を飲みながら、作品の感想を交換したり、アーティストとの交流も楽しめる出会いのスペースです。今回は、スペシャルイベントとして、「Y時のはなし」の音楽を担当する蓮沼執太によるラップトップ・ライブ(15日)、快快メンバーと本作の舞台美術や小道具を体験できる「快快と遊ぼう!!」(16日)を開催します。YCAMで、今回のイベントに参加した出演者と観客が、その体験を共有し、気軽に交流を深める機会です。

photo: かくたみほ



<15日(土)出演ゲスト>

蓮沼執太 | はすぬま しゅうた

音楽家

1983年、東京都出身。2006年にアメリカ Western Vinyl よりデビュー。ライブパフォーマンスでは「蓮沼執太チーム」としてバンド編成で活動。2009年、「9downloads | 9つの音楽をダウンロードする」を自身のwebから高音質配信。SUMMER SONIC 2009出演。2010年にアルバム「wannapunch! | ワナパンチ!」をWEATHER/HEADZより発表。Podcast ラジオ番組「ウインドアードウインドウズ」の司会/ディレクションを務める。

開催概要

YCAM パフォーマンス・ラウンジ #5

快快(faifai)「Y時のはなし」+ contact Gonzo パフォーマンス

2010年5月15日(土) 19:00開演、16日(日) 14:00開演

※開演の30分前より、contact Gonzo パフォーマンスをおこないます。

山口情報芸術センター [YCAM] スタジオB、ホワイエほか

主催：財団法人山口市文化振興財団

後援：山口市、山口市教育委員会

平成22年度文化庁芸術拠点形成事業

企画・制作：山口情報芸術センター [YCAM]

「アフターアワーカフェ」 ※チケット半券をお持ちの方に限り入場可能

公演後、お茶を飲みながら、作品の感想を交換したり、アーティストとの交流も楽しめるカフェ・スペースがオープン。

カフェ終了時間：15日(土) 21:30まで / 16日(日) 16:30まで

スペシャルイベント：

15日(土) ラップトップ・ライブ 出演：蓮沼執太

16日(日) 「快快と遊ぼう!!」 出演：快快

快快(faifai)「Y時のはなし」

作：北川陽子

演出：篠田千明

出演：中林 舞、山崎皓司、竹田 靖、天野史朗

舞台監督：佐藤 恵

美術：佐々木文美

照明・オブジェ：上田 剛

映像：天野史朗、佐々木文美

音響：星野大輔

音楽：蓮沼執太

衣裳・人形：藤谷香子

ジオラマ：山本ゆい

宣伝美術：加藤賢策(東京ビストル)

写真：加藤和也

キャラクターデザイン：しんぼうなおこ

制作：河村美帆香

協力：HEADZ

contact Gonzo パフォーマンス

出演：塚原悠也、三ヶ尻敬悟、加藤 至、金井 悠

ゲスト：梅田哲也

チケット情報

料金：(全席自由 / contact Gonzo パフォーマンスは無料)

前売 一般2,000円 / any会員・特別割引1,700円 / 25歳以下1,500円

当日 2,500円 [チケット発売：4月3日(土)]

※当日は各種割引対象外

電話/窓口：

山口市文化振興財団チケットインフォメーション (YCAM内)

083-920-6111 (10:00～19:00 ※火曜休館・祝日の場合は翌日)

インターネット：

<http://www.ycfcp.or.jp/> (24時間受付 ※要事前登録)

■特別割引

特別割引は、シニア(65歳以上)、障がい者及び同行の介護者1名が対象。

■未就学児入場不可。

■託児サービス

対象：0才(6ヶ月)以上

託児時間：開演の30分前から終演30分後まで

料金：お子様1人につき500円、2人目以降は1人につき300円

申込方法：5月8日(土)までにチケットインフォメーションまでお申し込みください。

■車椅子席・補聴システム

事前にお問い合わせください。



山口情報芸術センター
Yamaguchi Center for Arts and Media